

テーマ別パスファインダー



二元論を批判的にみるヒント



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2026年2月3日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

二元論とは？

日常生活で「二元論」という言葉を耳にする機会はそれほどありませんが、二元論を土台としたものの考え方は、実際には私たちに馴染み深いものです。友人のとある言動から「A君はやさしい人だ」とあなたが考えるとき、そこには「A君がとった言動は善いふるまいだ」という価値判断が自然に働いているかもしれません。あるいは「A君は冷たい人だ」とあなたが考えるとき、そこには「A君がとった言動は悪いふるまいだ」という価値判断が関連しているのではないのでしょうか。このような「善悪二元論」に限らず、「二元論」とは、二つの相反する概念を用いて物事を評価したり分析したりする様式のことを広く指します。ほかにも、「人間は一般に楽をしたがる生き物だが、あえて自分に負荷をかける人もいる(普遍/特殊)」、「この文章が読みにくいというのは私個人の感想ではなく、実際の構造からして現に読みにくいとされている言葉遣いなのだ(主観/客観)」、「一を犠牲に十を助けるという考えは合理的だが、私の感情がそれを許さない(理性/情動)」等々...このように、知識を整理したり、誰かに自分の考えを伝えたりするとき、私たちは知らず知らずのうちに二元論に則ったものの考え方に導かれます。二元論は、私たちの思考とは切っても切れない関係にあるのです。

二元論を批判的にみるには？

善悪の例を用いて二元論的思考をもう少し現実的にみれば、「善い」ことの判断は「とても善い」「善い」「やや善い」のよう段階をなしていることもありえます(「悪い」ことも同様です)。このように程度にグラデーションのある判断もまた、「善い」か「悪い」かのいずれかの判断ができる限りにおいて、広義の二元論に含むことにしましょう。そうすると、「やや善い」と「やや悪い」がさらに弱まって互いにぶつかってしまう地点、いわば「善いとも悪いともいえない」ような困った事例は、どのように扱えばいいのでしょうか。

ここで視点を変換してみましょう。「善さ」や「悪さ」は、たった一度きりの「今」にたくさんの要因が絡み合って判断される「善さ」や「悪さ」なのであって、それは本来、他の場面での「善さ」や「悪さ」と比べられるものではないはずです。それなのに私たちは、まるで温度計のような測定を可能とする「善悪計」という器具が存在するかのように、個別の時空間に存在する物事の善悪を一律に測ってしまいます。そのようであるなら、この「一度きりの『今』」というキーワードを軸にすれば、二元論とは異なる考え方を身につけることができ、ひいては二元論のもとで「どちらでもない」とされていた例を異なる角度で捉えられるようになるかもしれません。

このるくばすでは、「一度きり」というキーワードから二元論的思考を見つめ直すことができるようになるガイドとして、この問題に取り組んだ哲学者の入門書を紹介します。

関係分野：哲学 認識論 存在論

II. ベルクソンの思想に学ぶ

「時間」を主なキーワードとして特異な思想を著した哲学者アンリ=ベルクソン(1859-1941)。彼の著作は複数の思想家のみならず後の哲学の展開そのものにまで大きな影響を与えており、没後 80 年を過ぎ越した現在においてもなお、その言説には汲むべき見識が数多く眠っています。

＜ [金森修 \(2003\)『ベルクソン:人は過去の奴隷なのだろうか』日本放送出版協会](#)

ある哲学者の思想を知ろうとすると、『〇〇入門』と題された新書や単著ですらその解説は非常に難しく、多くの場合初心者では太刀打ちできません。難解な文章を前にして諦めてしまう事態を避けるためにも、まずは『ベルクソン入門』の入門』として、学びたい哲学者の思想のおおまかな方向性を分かりやすい筆致で手ほどきしてくれるこの本から読むことをお勧めします。本書を含む「シリーズ・哲学のエッセンス」はこの目的にまさに合致しているといえるでしょう。「量」と「質」、「空間」と「時間」、これらの概念の対比を通して、ベルクソンの思想をのぞいてみましょう。

【ISBN : 9784140093085, NCID : BA63668429】

＜ [平井靖史 \(2022\)『世界は時間でできている:ベルクソン時間哲学入門』青土社](#)

ベルクソンの思想のなかでも重要となる時間に関する理論を軸として、「持続」や「純粹記憶」など、彼の思想における複数のキーワードが筋道だった論理でまとめられています。読書に不慣れな方にとっては少々多く感じる分量ですが、前の内容を振り返りながら少しずつ論を進めていく丁寧な構成からは、読者を哲学の思考に導こうとする筆者の並々ならぬ気遣いが感じられます。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |HIR】

＜ [村井達也 \(2025\)『ベルクソン入門』青土社](#)

ベルクソンの思想の見取り図として最適な入門書です。彼の主著である『意識の直接与件についての試論』『物質と記憶』『創造的進化』『道徳と宗教の二源泉』を、各著の哲学的主題と紐づけながら分かりやすく説明する四つの章、ならびにベルクソンの哲学に共通している彼の思想の方針を概観する一つの章から構成されており、この一冊でベルクソンの思想のおおまかな輪郭を掴むことができるようになります。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |MUR】

＜ [村井達也 ほか\(編\) \(2026\)『ベルクソン: 諸学と協働する哲学』新曜社](#)

ベルクソンの思想内部の見取り図が描かれる上記『ベルクソン入門』に対して、本書では学問における彼の思想の立ち位置に焦点が当てられています。いわば哲学を含む諸学と彼の思想とのおおまかな関係図として活用することができる本です。コラムには彼の生涯や同時代の思想家との関係、後世への影響もまとめられており、総じてベルクソンの思想を哲学の外部へと開くためのガイドブックといえるでしょう。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |MUR】

III. メルロ=ポンティの思想に学ぶ

物事を考えるとき、私たちは物理的に確かに存在する「この世界」と自身の思考のうちで展開する「心の世界」を知らず知らずのうちに分離して考えてしまいます。知覚においても同様に、自分と関係なく存在する世界と自分が認識したことを二分し、前者を客観的で揺るぎないもの、後者を主観的で疑う余地のあるものとして捉える傾向にあります。このような二項対立のモデルは常に妥当であるといえるのでしょうか。モーリス・メルロ=ポンティ(1908-1961)の思想からこのことを改めて考え直してみましょう。

< [熊野純彦 \(2005\)『メルロ=ポンティ:哲学者は詩人でありうるか?』日本放送出版協会](#)

ある言葉が生まれる瞬間を見つめ直すこと、それはすなわち、「感じたことや考えたことをありのままに表したい気持ち」と「ありのままを平板化してしまう言葉」との間に生まれる葛藤を、ひたすらに真摯に引き受けることであるともいえるでしょう。詩人のそうした葛藤の痕跡を、詩作における彼らの斬新な言葉遣いから読み取るとき、私たちは「言葉の意味」の故郷を訪ねる旅へとその一步を踏み出しているのです。「シリーズ・哲学のエッセンス」の一冊で、メルロ=ポンティが哲学という営みを通して何を語ろうとしていたのか、その大枠を掴むことから始めてみましょう。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |KUM】

< [加賀野井秀一 \(2009\)『メルロ=ポンティ:触発する思想』白水社](#)


メルロ=ポンティの思想のエッセンスが著作ごと(『行動の構造』『知覚の現象学』『見えるものと見えない者』ほか数点)に昇順で解説されています。本格的な研究に立ち入らない限り、必ずしも哲学者の思想の変遷を知悉する必要はありませんが、各時代の思想を概観することで、当の哲学者が一生涯保っていた観点をおおまかに捉えることができ、ひいては思想の理解が一層深まることでしょう。筆者の美しい言葉遣いと流麗な文体による解説は、読み物としても一読の価値があります。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |KAG】

< [田村正資 \(2024\)『問いが世界をつくりだす:メルロ=ポンティ 曖昧な世界の存在論』青土社](#)

若手の研究者が、幅広い読者層に向けて自身の博士論文に加筆修正を施した単著です。「世界は試問的な状態で存在する」というメルロ=ポンティのテーゼの解明を主な目的に据えて、この哲学者の思想に関する考察が懇切丁寧におこなわれます。著者は株式会社 baton (QuizKnock)の業務に携わっている関係で YouTube の動画にもたびたび出演しており、本書に関するインタビューも受けています。「哲学は難しいものだ」という先入観を解きほぐすような柔和な語りをぜひ一度聞いてみてください。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | |TAM】

インタビュー動画 (YouTube) 

< [田中彰吾 \(2024\)『身体と魂の思想史:「大きな理性」の行方』講談社](#)

本書はその題が示す通りに「身体」と「魂(=精神)」の関係性に関する思想の近代の流れを追う著作であり、メルロ=ポンティはこの思想史のなかで扱われています。先述したベルクソンと同様に、哲学者の思想の理解に努めるとき、それを他の思想や学問との関係において捉えることもまた大切です。19 世紀から現在にわたる心身論の系譜においてメルロ=ポンティの思想が占める位置をみてみましょう。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 114 | |TAN】

IV. ドゥルーズの思想に学ぶ

ジル・ドゥルーズ（1925-1995）は先述のベルクソンの系譜を継ぐ「生成の哲学」の立場から数々の概念を提唱しました。きわめて難しい著作はいずれも計り知れないほどの含蓄に富み、今日もなお多くの学者の研究対象となっています。私たちに近い時代を生きていた彼の思想には、昨今の問題を異なる観点からとらえるためのヒントが眠っているようです。難解をもって鳴るにも関わらず多くの人々を惹きつけてやまないドゥルーズの思想にじっくり向き合ってみましょう。

< [檜垣立哉（2019）『ドゥルーズ:解けない問いを生きる』筑摩書房](#)

「シリーズ・哲学のエッセンス」の一冊として刊行された同著の増補版です。私たちは、近代以前に万物の根源として人の心を支えていた絶対的な「神」がない現代を生きています。また、近代以降に「神」の代役として神聖視された「人間(の理性)」もまた、それが機縁となって生じた数多の災難を経て、もはや絶対的であるとはいえなくなりました。すぐることのできる存在が欠けてしまった空虚なこの時代において、それでもなお私たちに残された「生きることの可能性」とは何なのでしょう。この解けない問いを、筆者の導きにしたがってともに考えてみましょう。

【総合図 A 棟 3F 文庫・新書 | 089 | CG | DEL】

< [仲正昌樹（2018）『ドゥルーズ+ガタリ「アンチ・オイディプス」入門講義』作品社](#)

難解な哲学者の思想や彼らの著作を分かりやすく紐解く「入門講義」シリーズの1冊です。本シリーズは実際に学生や市民に向けておこなわれた講義の内容が基盤となっており、概して非常に分かりやすい筆致が特徴です。幅広い知識に裏打ちされたきめ細やかな読解は、難解な資料を読む際の姿勢として参考にすることもできるでしょう。ぜひ本書指定の原著の邦訳を横において臨場感のある講義を楽しんでみてください。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | NAK】

< [芳川泰久・堀千晶（2015）『ドゥルーズ:キーワード89』せりか書房](#)

ドゥルーズの著作を読む際にキーワードとなる89個の概念の明晰な解説が詰まった事典です。単体の利用には限界がありますが、ドゥルーズ関係の著書を参照する際に併用すると非常に効果的です。

【総合図 A 棟 3F 学習用図書 | 135 | YOS】

< [松本卓也（2019）『創造と狂気の歴史:プラトンからドゥルーズまで』講談社](#)

古代よりまことしやかにささやかれてきた「常軌を逸した精神をもつ人が優れた芸術を生む」という言説をもとに、「狂気」に関する思想の系譜をたどる著作です。書名に表されている通り、ドゥルーズにとっても「狂気」は主要な研究対象のひとつでした。この一冊でドゥルーズと他の思想との関連性が詳らかになるわけではありませんが、ひとつの明快なテーマを軸に展開する思想史は初学者にとって比較的とっつきやすいはずです。各時代において「狂気」がどのようにみなされていたのか、また、現代を生きる私たちの「狂気」に関する理解がいかに普遍的ではありえないのかを、本書から学んでみましょう。

【人哲学と質的研究 2 | 130 | MAT】

V. 最後に

哲学はやっぱり難しい？

ここまで紹介した書籍は、比較的分かりやすいものであるとはいえ、初学者としてそれぞれの本を実際に読んでみると難しく感じる文章に何度も出会うかと思います。できればそこで諦めずに、「分からない」というモヤモヤを抱えたまま読み進めてほしいです。そうして、ある程度の時間をあけてもう一度分からなかったところを後で読み返すといった試行を繰り返してみてください。

ドゥルーズの研究にも携わっている哲学者の千葉雅也さんは、国立国際美術館主催のトークイベントにおいて「本は全部分からなくて当然だ」といった主旨の言葉を残されています。その「分からなさ」を解消していくには、自分自身が今まで築きあげてきた知識をおしなべて疑ってかかるくらいの心意気で、意味の分からない文章を分からないままとっておくしかありません。異物の状態で取り込んだそれらの言葉の消化は、様々な出来事を経てある日突如「そういうことだったんだ」と腑に落ちる形で果たされることがあります。それは、本を読んだその瞬間に自分もっている経験や知識では到底はかり知ることのできない「他者の言葉」の真意を、人生を通してゆっくりと解明していく営みにほかなりません。

インロトダクションで示した、「一度きりの『今』」が二元論を乗り越えるヒントになるというそのフレーズ自体、多くの方にとって不可思議であるかもしれません。このるくばすを書いた私の言葉は、あなたにとっては不可解でありうる「他者の言葉」です。どうか効率よく理解できるものであるとは思わずに、上で紹介した本の文章とあなた自身のこの先の経験とをふまえて、いつかその言葉の真意をあなたなりに見出していただけたらと思います。

哲学を超えて

ここで紹介した本から何らかの知識を会得したとして、それを哲学以外の領域に応用することは可能でしょうか。私の考えでは、哲学には、人が思考を巡らせるときの「ものの考え方」そのものを問い直すことのできる力が潜在しています。哲学から得た学びは、ある研究者の「ものの考え方」を推察する能力につながり、ひいてはそうした考え方の利点と弱点とを整理することまで可能にします。二元論で思考が行き詰るのであれば、当の二元論によって見落とされている要素を前提から洗い直すということも確かな一手となるはずです。このるくばすで紹介した著作から、そのヒントを少しでも得られることを願っています。

千葉雅也さんのトークイベント (YouTube)



✧ 図書利用のためのヒント

[図書/論文の検索]

論文や Pathfinder に掲載されている図書等を検索するには

【図書・ジャーナル】

- ・外国学図書館各階にある検索端末を利用するか、お持ちのデバイスで検索してください。
- ・その際は、書名や出版年、出版社、著者名、ISBN、ISSN 等を OPAC 検索に打ち込んでください。

【電子ジャーナル】

- ・電子ジャーナルの種別によって学内・学外からのアクセスの可否が異なります。
- ・多くの場合は「附属図書館 HP」→「電子ジャーナル」で検索できます。見つからない場合は、3階レファレンスカウンター/LS デスクまでお問い合わせください。

[パスファインダーの凡例]

- ◀ 図書名はすべて以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)
- ◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と請求記号を記しました。
総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)
生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)
理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)
人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)
外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)
外国図-雑誌 → 直近 1~2 年に出版されたものは 3 階雑誌コーナー、バックナンバーは 1 階
書庫
電 → 電子ジャーナル、電子ブック
※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。
- ◀ 検索を容易にするために、NCID (CiNii Books で使われる各図書固有の識別番号) や ISBN (世界的に使われる各図書固有の識別番号)、ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合があります。
- ◀ 外国学図書館を中心に紹介しているため、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。